

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375700693
事業所名	グループホームよつ葉

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2) 「隣組」(町内会)に参加している。 地域の祭り(神輿が施設まで訪れる)への参加、文化展への出品参加がある。 日常の買い物などでの声掛け挨拶などして交流している。 中学生(内海、篠島、師崎)のボランティア、大学などの実習生の受け入れがある。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3) 保健介護課、家族、民生委員、学生、職員、などの参加で、運営状況、行事などの報告、災害時での対応など、多岐にわたる意見交換、提言など得て、運営に反映している。 災害時での避難場所への認知症など、障害のある人たちの避難場所づくりなどを役所へ提言する、ケアマップ、地域の老人会との連携など具体的な提案、連携をしている。 クリスマス会などに参加してむらい、利用者の状況を体験、一緒に時間を過ごすことで理解を深める工夫などしている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4) 地域包括ケア会議、認知症協議体の会議、へ毎月参加し、情報共有、研修をしている。 推進会議で出た防災の提案を、役場、地域包括と連携し、ケアマップ、地域老人会との連携など、協力している。 町の広報へ認知症の特集、認知症フォーラムなどの開催で連携協力がある。 認知症、防災研修への参加がある。県の事業者研修会への参加がある。 日常的に役場、包括などとの連携がある。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6) 毎月お便り「よつ葉新聞」の発行があり情報共有し、行事や、暮らしをわかり易く伝えている。 日常的に、電話や、メールで連絡、情報の共有や、意見要望の取入れがある。 庭のスロープの設置など要望の取入れがある。 訪問時、ケアプラン作成時、行事参加時、運営推進会議などでの、意見交換、情報共有、要望の取入れなどして、ケアや運営に反映している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	×	×	○	○	○	○	○	◎	